カリオン carillon

Vol. 28
2016.2

発　行　姫路赤十字看護専門学校
発行責任者　学 校 長　佐藤四三
編集責任者　事務部長　船曳健次
〒670-0063　姫路市下手野1-12-2
TEL/FAX　079-299-0052（直通）

TOPIC 兵庫県赤十字大会に参加して

私達は日本赤十字社兵庫県支部創立125周年記念大会に参加しました。秋篠宮妃紀子様のご臨席のもと、私は妃殿下、副社長、支部長の方々に表彰品を持参する役をさせて頂きました。とても緊張しましたが無事に役を終えることが出来て良かったと思います。参加者はとても多く、日本赤十字社は奉仕活動、寄付、献血などの面において多くの方々に支えられて成り立っているという事を改めて実感できました。このような貴重な機会に参加出来て本当に良かったです。

（クラスⅡ）

行事予定（平成28年2月～平成28年5月）

2月
14日（日）　第105回看護師国家試験
15日（月）～　クラスⅡ 領域別実習再開

3月
2日（水）　卒業を祝う会
4日（金）　クラスⅢ 卒業式
20日（日）～4月3日（日）　全クラス 春季休業
25日（金）　国家試験合格発表

4月
5日（火）　入学式
8日（金）　新入生歓迎会
4月～6月　クラスⅠ 基礎看護学実習Ⅰ
29日（金）～5月5日（木）　保健週間

5月
12日（木）　ナイチンゲール祭

姫路赤十字看護専門学校 教育理念

本校は、赤十字の基本理念「人道」を看護実践で具現化するという赤十字の理念のもとに活動する看護師を育成することを使命とする。看護は人間の健康生活にかかわるケアリングである。本校は反省的実践家を育てるためにリフレクションを用いる。学生と教員にケアリングが起こる、このような学習過程を教育の基調とする。

【教育目標】

1）人道（ヒューマニティ）を基盤とする赤十字の思想に基づき、人間の生命と健康を守り、苦痛を予防・軽減し、尊厳を確保できる豊かな人間性を養う。

2）人間を身体的・精神的・社会的に統合された存在として、幅広く理解する能力を養う。

3）人々の健康と生活を、自然・社会・文化的環境とダイナミックな相互作用等の観点から理解する能力を養う。

4）赤十字の基本原則を基盤とする看護専門職業人としての職業倫理観をもち、看護を実践できるとともに、最新知識・技術を自ら学び続ける基礎的能力を養う。

5）人々の健康上の課題に対応するため、科学的根拠に基づいた看護を実践できる基礎的能力を養う。

6）健康の保持増進、疾病予防と治療、リハビリテーション、終末期など、健康や障害の状態に応じた看護を実践するための基礎的能力を養う。

7）看護の実践は「安全」で「安楽」を第一義とし、医療事故を未然に防止できる能力を養う。

8）保健・医療・福祉制度と他業種の役割を理解し、チーム医療を実践するとともに、人々が社会的資源を活用できるよう、それらを調整するための基礎的能力を養う。

9）赤十字の諸活動に関心を持ち、将来、赤十字の理念のもとに活動する看護師として国内外で活躍できる基礎的能力を養う。

平成27年度 戴帽式

平成27年10月30日（金）

宣誓

私たち戴帽生は、今ナースキャップを頂いて、看護師に一歩近づくことができ、とても嬉しく、気の引き締まる思いです。これからも、私たちを支えてくださる方々への感謝の気持ちを忘れずに、看護学生としてより一層の自覚を持って過ごします。そして将来、患者さんの気持ちになって考えられ、患者さんにとって安楽なケアを行える看護師になれるよう、仲間と協力して、一日一日を大切に看護の道を歩んでいくことを誓います。

（戴帽生代表）

戴帽を祝う会

平成27年10月30日（金）

昨年先輩方に祝っていただいて嬉しかったように、後輩に喜んでもらえるように何ができるか話し合い、プレゼントや歌詞に思いを込めました。何度も話し合い、頑張った結果、戴帽生が感動してくれ、とてもいい会になりました。

（戴帽を祝う会委員長）

戴帽を祝う会 講演　日　時：平成27年11月4日（水）　テーマ：「見えないから見えたもの」

今年度は、岡山県立岡山盲学校講師、竹内昌彦先生にご講演頂きました。学校関係者評価委員である、前島講師、國永講師も聴講されました。（関連記事　5面）

授業参観（クラスⅡ） 平成27年11月17日（火）

● 授業参観に参加して

講義を聞いた後、癒しのハンドケアやフットケアを娘にしてもらいました。フットケアでは自宅では見ることのない笑顔で接してくれ、上手にマッサージをしてくれました。頑張って勉強していると実感し、うれしい気持ちになりました。入学して1年半、ゼロから始まって一段ずつ看護師になるための階段を上がっていることを実感した時間でした。（クラスⅡ保護者）

防火防災訓練

**学校、保育所、血液センター、
居宅介護事業所・訪問看護ステーション
合同訓練の実施**

平成27年12月24日（木）、震度6強の地震発生後の火災発生を想定した防火防災訓練を実施しました。今回は保育所の移転に伴って避難経路や待機場所を一部変更することになりましたが、学生も職員も緊迫した様子で臨んでおり、困難なく避難を完了することができました。災害はいつ発生するかわかりません。いざという時に混乱なく迅速に行動できるように、日頃から準備し、訓練することを心掛けていきましょう。（専任教師：藤田 美佐子）

院外実習での学び

院外実習に行く前は、初めての場所での実習に非常に緊張しました。しかし、職員や療養者の方々がとても親切にしてくださり、有意義な実習をさせていただくことができました。

小規模多機能ホームでは、療養者の方が自分達で食器の片付けをされている場面を目にし、残存機能を活用し、できることを行っていくことが地域で生活することにつながることを学びました。

今回学んだ療養者さんの生活の場を想起しながら、今後の看護につなげていきたいと思いました。（クラスⅢ）

統合実習を終えて

統合実習では、多重課題のなか優先順位を考え、患者さんにとって必要な看護をチーム全員で考える重要性を学びました。患者さんとの関わりやチームで看護を考えることについて悩むことも多くありましたが、チーム全員で話し合い、先生をはじめ臨床のスタッフからアドバイスを頂きながら少しずつ自分たちの看護が提供できるようになったのではないかと思います。

この3年間で本当に多くのことを学び、自分自身を成長させることができました。これからも患者さんのために自分は何ができるのかを考えて看護を提供していきたいと思います。（クラスⅢ）

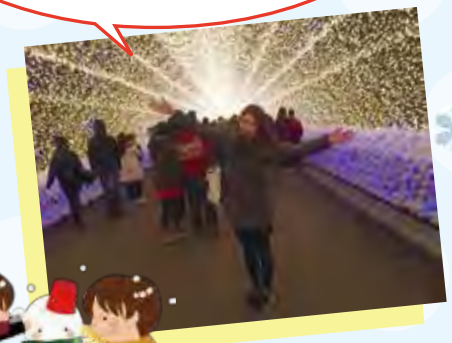
冬休みの思いで

私はこの冬休みの間に、１歳と４歳の従妹が住む親戚の家に行きました。普段から週に１度ほど会っていたのですが、泊りがけで行くのは久しぶりでした。一緒に公園に行ったり、紙粘土で遊んだり、ご飯を食べたりととても楽しい時間を過ごすことができ、かわいい笑顔に癒されて良いリフレッシュとなりました。
（クラスⅠ）

1月11日に姫路市の成人式に参加しました。中学や高校、専門学校の友達と会い話をしたり写真を撮りあったり、楽しい時間を過ごしました。新成人を迎え、ここまで育ててくれた家族への感謝の気持ちでいっぱいです。看護師になる夢を叶えて少しでも親孝行出来るように、勉強や実習を頑張ろうと改めて思いました。
（クラスⅡ）

私は冬休みに友達３人とユニバーサルスタジオジャパンに行ってきました。色んなアトラクションを楽しんだあとに「天使がくれた奇跡」というショーをみんなで見て、ダンス・プロジェクションマッピング・歌声などのパフォーマンスにとても感動しました。友達とのいい思い出を作ることができて良かったです。
（クラスⅠ）

私は、12 月 24 日～ 26 日にかけて高校 3 年間クラスが同じだった友だちと、近畿地方を全て回りました。京都で抹茶フォンデュを食べたり、滋賀県の琵琶湖へ行ったり、三重県のなばなの里に行ったりと、ノープランでの女子旅でしたが、時間を気にせずゆっくりした楽しい旅行でした。
（クラスⅡ）



12 月の中旬に1035 時間の実習を終え、一息つきたいところでしたが、2 月に国家試験を控えているため、勉強勉強の毎日でした。
新年を迎えてからは、初詣に行きおみくじをひきました。すると「末吉」。なんだかぱっとしない運勢ではありましたが、後は登り詰めるだけ。おみくじに左右されず自分たちの手でしっかり合格をつかみとれるように頑張りたいと思います。３年間様々な事を乗り越えてきたクラスメイトだからこそ、今回も一致団結で必ず全員で合格します。
（クラスⅢ）

「見えないから見えたもの」DVD 鑑賞

竹内先生の講演を聞き、本を読み、映画を見ました。講演では実際に竹内先生の手を引くという経験をさせて頂きました。このような経験は初めてでとても戸惑いました。竹内先生に「大丈夫だから普通に歩いてみて」と言われてもドキドキしながらそっと歩くことしかできませんでした。しかし、今回の経験で声をかけることで役に立つことがあると学べたので、これからに活かして、街で困っている人に声をかけられるようになればいいなと思います。

（クラスⅠ）

戴帽を祝う会で講演をして下さった竹内昌彦先生の生涯を再現した DVD を観賞しました。講演で話して下さった内容を映像として見ることでよりイメージしやすく、たくさんの辛いことや苦しいことを先生自身の考え方で乗りこえてこられてきたことがよくわかりました。どんなに辛いことがあっても、竹内先生の講演や DVD を思い出して乗りこえていこうと思いました。

（クラスⅡ）

球技大会

私は、球技大会委員として球技大会に参加しました。学校行事に主催者側として関わるのは今回が初めてだったので、その都度先輩にアドバイスを頂いたり、他の委員と協力し合って準備をしっかりと進めることが出来たと思います。新入生歓迎会や来年の球技大会では私たちが中心となり運営していくので頑張っていきたいと思います。（クラスⅠ）

いつもの姿からは想像できないような強烈なスパイク、スマッシュなど、同級生や先輩、先生方の意外な一面を見ることができ、とても新鮮でした。皆さんにとって良い気分転換になっていれば嬉しいです。来年は私たちが主として運営するので、委員のみんなで協力して良い球技大会になるように頑張ります。（クラスⅠ）

今回、委員長として球技大会の準備や進行を行いました。その中で、全員が物事を共通理解することの難しさ、あらゆることを想定して準備する必要性を学びました。当日は球技大会委員だけでなく、参加者全員が協力して下さり、大成功でした。クラスメイトに「めっちゃ楽しかった！ありがとう。」と言われ、頑張ってよかったなと感じました。みんなにとっても、私にとっても学校生活の良い思い出のひとつとなりました。

（クラスⅡ）

拝啓、ご家族のみなさま

早いもので私が 1 人暮らしを始めてから 1 年半が経ちました。
始めは毎日の家事にも戸惑っていましたが、今ではその生活にもなれました。弁当など手を抜いてしまうこともありそのたびに毎日弁当を作ってくれていたお母さんはすごいなと感じています。新らたに一年が始まったので気持ちを引き締め直して過ごしていきたいです。

（クラスⅡ）

高校を卒業し親元を離れて早や2年が経ちました。初めは全ての家事が苦手で戸惑うことも多々ありました。勉強の両立など大変で面倒くさいことも多く、大変な時期もありました。失敗することもありますが、スムーズに出来ることも増えてきました。今年は実習が控えているので、気を引き締めて頑張っていこうと思います。

（クラスⅡ）

一人暮らしにも慣れ、料理も最初に比べると上達しレパートリーも増えました。家族や地元の友達が恋しくなるときもありますが、楽しく充実した日々を送っています。
国家試験に向けて、全員合格を目標に仲間と一緒に頑張っていきます。

（クラスⅢ）

世界エイズデーイベント in Himeji

H27.11.21

世界エイズデーイベントのボランティアに参加させていただきました。このイベントでは姫路の看護学校の学生がそれぞれエイズに関するコーナーを担当し、私達はエイズの人達や自分の大切な人に向けたメッセージを書いてもらうメッセージ・リボンコーナーを担当しました。多くの方と触れ合うことでとてもいい経験ができ、またこのイベントを通して１人でも多くの方にエイズのことを考えてもらうきっかけになっていればと思います。

（クラスⅠ）

私達は世界エイズデーイベントにボランティアで参加しました。しろまるひめとの写真撮影やレッドリボンのネイルアートを体験出来たり、メッセージカードやリボンの飾り付けを行うイベントでした。このような活動でエイズに対する興味や関心を持ってもらえたり、少しでも差別や偏見がなくなればいいなと思いました。

（クラスⅡ）

立合い演説会

私は学校初の男性の自治会長として皆さんの学校生活が豊かになるように、自治会行事など力を入れて役割を果たしていきたいと思います。精一杯力を尽くしますので皆さん、ご協力お願いします。学生全員で良い学校づくりをしていきましょう。

（クラスⅡ）

今回自治会副会長に就任し、不安もありますが今までの方がどのように動いていたのか自治会行事などがどのように運営されているのかを学び、視野を広げることが出来るのではないかと思っています。初めての自治会なので、わからないことも多いですが先輩に聞きながら、確実に仕事が出来るようにしています。また、他の役員ともそれぞれ協力しながら頑張っていこうと思います。

（クラスⅠ）

看護学生あるある

●「GW」世間一般ではゴールデンウィークだが私たちにとってはグループワーク。

●実習中は手荒れがひどいのでみんなハンドクリーム持参。

●お正月に親戚が集まると健康診断の結果や体の不調について相談される。

１年間私たちがカリオンを作りました

１年生

２年生

３年生

講師紹介

非常勤講師

向井 悠

音楽を担当しています。この授業では歌唱を通して、基本的な姿勢や発声法を身につけ、自己表現力やコミュニケーション力を高める手助けができればと考えています。皆さんは、夢や目標を持って、この看護の世界に足を踏み入れたことでしょう。周りの方との心と心の繋がりを大切にしながら日々精進してください。精一杯応援していきたいと思います。

検査技術部

大石 博一

「感染症と微生物」を担当しています。ヒトは産まれてから細菌やウイルスに全く感染せずに成長していくことはありません。生涯、感染を繰り返しながら生きていきます。

学問としての微生物学は大変難しく構えてしまいますが、あの時の感染はこの微生物だったのか！と細菌やウイルスがとても身近な存在であることを認識してもらい、病原微生物の特徴を知り感染症に立ち向う知識を身に付けましょう。

姫路赤十字病院　救急外来・救急病棟　看護係長　小児救急看護認定看護師

不田 貴希

2012年度より、小児看護学の講師を務めさせて頂いております。看護学や医療系の学問は難しい内容があり、勉強に行き詰ることもありますが、在学中の実習や看護師として働き出した際に活かせるように、楽しく、解りやすく、イメージしやすいような講義を心がけています。また、看護師としてだけではなく、親の立場になった時や日々の子どもたちとの関わりの中でも知識を活用できるような講義になればと願っています。

病棟紹介 6階東病棟

6階東病棟は外科で、主に食道・胃・腸・肝臓・胆嚢・膵臓などの病気がある方の看護をしています。侵襲の大きな手術も多いので、患者さんの言葉や気持ちはもちろんですが、言葉をもたない体の声もしっかりとくみ取れるように努力しています。

看護学生も病棟のチームのメンバーです。実習の時は患者さんをしっかりとみて、私たちと患者さんについて、たくさん話し合いをしましょう。

患者さんのために解剖・生理を学んでおいてくださいね。

（6階東病棟　看護師長：田内 千恵子）

看護教員ラダー認定

学校長より認定証が授与されました。

- 看護教員ラダーレベルIII
  - 山田 道代 教務主任
  - 松井 里美 専任教師
- 看護教員ラダーレベルII
  - 神戸 真由美 専任教師
  - 谷口 真紀 教務助手

※看護教員ラダー：赤十字看護専門学校・赤十字助産師学校の能力向上のためのキャリア開発ラダー

兵庫県善行表彰 のじぎく賞受賞

クラスII 阿部可奈子さんが
マラソン中に倒れた男性に
心肺蘇生法を行い、
命を助けたことで受賞しました。
学校長からは善行に対して
表彰状も贈られました。

カリオン 歴史シリーズ

「搾乳器（さくにゅうき）」

これは「搾乳器」で、乳汁を吸出す器具である。
「甲種看護教程附圖（こうしゅかんごきょうていふず）（大正7年発行）には、「乳汁吸吮器（にゅうじゅうきゅうぜんき）」と記載されている。これと同型のものが1825年のフランスの医療器具カタログに掲載されている。

現在は、母乳には免疫物質が含まれ感染防御作用があるなど、母乳育児の推進が行われている。特に初乳には免疫グロブリンが豊富に含まれているが、江戸時代後期までは初乳は子どもに有害なものとして忌避されていた。昭和35年から45年は粉ミルクが推奨されるなど、母乳も歴史とともに位置づけが変化しています。

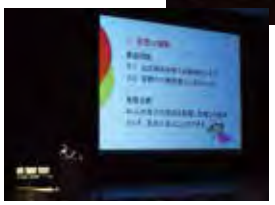
（副学校長：柳 めぐみ）

「甲種看護教程附圖」（大正7年8月31日発行） 日本赤十字社編纂

第13回

関西看護学生看護研究大会 平成27年10月21日（水）

「学童期の特発性血小板減少性紫斑病患児への援助 ～安全に遊ぶために～」



自分の看護実践を発表し、私の思いや考えを聞いて頂き、活発な意見交換を通して新たな気づきにつながりました。また他の看護学生の発表を聞く中で自己の看護観について深める機会となりました。同じ志を持つ多くの看護学生と看護を語り合う貴重な経験をさせて頂き、喜びや達成感を感じることが出来ました。

（クラスIII）

学校関係者評価会議

平成25年度から委員（院外講師）として参加させていただいています。関西圏内の十数校の看護師養成校で教鞭をとっていますが、姫路赤十字看護専門学校ほど、入学希望者の選抜、授業課程・教授方法・学校運営・教員の研究の在り方、卒業後の諸問題などについて、地元自治会、病院関係者、保護者や私たち院外講師などの第三者の意見を聴き入れることで浄化能力を発揮している学校はありません。今回は、「早期離職」や「キャリア教育」などが話題になりました。今後、少子化、若者の価値観の変化など様々な課題に向かって自己変革が進むことを期待しています。

（看護予備校「啓学館」代表、看護教育研究家：前島 良弘）

編集後記

暖冬に油断をしているうちに年が明け、冬らしい日々が巡ってきました。
「寒い寒い」と言っているうちに、1月2月が過ぎます。この時期、看護師国家試験に向けての学習が最終段階をむかえます。例年のごとく、寸暇を惜しんで知識を詰め込みます。

3年間で、ただ詰め込む丸暗記ではなく、学んだ知識を使って患者の状態を把握したり、看護を考えたりできる学生であってほしいと願っています。

春はもうすぐそこです。あとひと踏ん張り、粘り強くいきましょう。

（専任教師：名村 かよみ）

姫路赤十字看護専門学校 カリオン Vol.28 発行日 2016年（平成28年）2月
発 行 姫路赤十字看護専門学校
発行責任者 学 校 長 佐藤四三
編集責任者 事務部長 船曳健次

〒670-0063 姫路市下手野1-12-2
TEL/FAX 079-299-0052（直通）
http://himeji.jrc.or.jp/school/